

会報第22号の発刊に寄せて



会長 K/T

新津ハイキングクラブの本年度活動の成果として、「平成25年度山行記録」（会報第22号）をお届けします。貴重な体験や楽しい思い出の詰まっている、この会報を折に触れ読み返し、またこれからの山行に生かしていただきたいと思います。この発刊に当って、広報部はもちろん、幹事や会員の皆さんのこの一年間の活動と協力に心から御礼申し上げます。

ところで本年度山行計画数は12月末現在で一般42、一斉5、月例16ですが、月例、一斉は全部実施されたものの、一般の方は、参加者不足6、悪天候5の計11の中止で、実施率は昨年比で19%ダウンという残念な結果となりました。そこで悪天候に対しては、期日変更での対応も考えられますが、参加者の減少や、バス、宿の手配などの問題もあり、今後の課題であります。

次に、来年度4月以降は消費税アップの関連で、様々なところでの経費増の懸念があります。計画したバスについては、既に大方見積を取ってありますが、その他の経費は実施段階での確認となります。この面での担当幹事の苦勞も半端なものではないですが、会員の皆さんの理解と協力をお願いします。

3つ目にはグレードの設定です。皆さんは、Dというと何か必要以上に警戒して申込みをためらいます。また皆さんの方でもグレードの申告を1ランク下げている人も多いようです。登り3時間半の二王子岳がDなのですから、どうかもっと自信をもってDに挑戦してください。また、Aにも問題があります。折角Aコースを設定しても、参加申込は大半がB、Cの人、Aの人はほとんど申込んでくれません。すると幹事の方でも張り合いがないからAコースを計画しないという悪循環になります。Aランクの人は、Aコースへはもちろん、A上やBへも、もっとどんどん挑戦してください。

私事ですが、私は平成26年1月末で満80歳となりました。皆さんも歳だけは確実に1つずつとっていきます。しかし山歩きは、継続さえしておれば、衰えはある程度防げます。「継続は力なり」です。どうか皆さん、新津ハイキングクラブの各コースへの参加を契機に、山歩きを継続し、いつまでも元気でいようではありませんか。